■藤原清河　　官人，歌人。藤原氏初の遣唐大使で，帰国に失敗，秘書監として唐朝に仕え，そのまま客死した。
ふじわらのきよかわ
元正天皇即位 715＝　　房前の異母妹従四位下片野を母に，_北家藤原房前の第四子に生まれる。すぐ上の異母兄真楯と叙爵が同年であるところから，この年誕生と見られる。

藤原不比等没 720＝ 5歳：

聖武天皇即位 724＝ 9歳：

長屋王の変・ 729＝14歳：

風土記成立・ 733＝18歳：

藤原四卿没・ 737＝22歳：

藤原広嗣の乱 740＝25歳：_乱後の聖武天皇の行幸に陪従した功で，従五位下に叙せられ，歴史に登場。
国分寺建設詔 741＝26歳：中務少輔に任じられる。
墾田永世法・ 742＝27歳：
大仏造立詔・ 743＝28歳：正五位下，大養徳守となる。

孝謙天皇・・ 749＝34歳：_孝謙天皇の即位に伴って，参議となる。時に従四位下。
・・・・・・ 750＝35歳：民部卿，*藤原氏一族のなかで初めて遣唐大使に任ぜられ，副使は大伴古麻呂となる。
懐風藻・・・ 751＝36歳：
大仏開眼・・ 752＝37歳：*節刀を賜わり，正四位下に叙せられ，大伴と突然副使に追加された吉備真備らと入唐の途につく。「万葉集」に，この間における入唐大使清河の歌2首を収める。唐では明州・越州を経て長安に入り，玄宗に謁見した。玄宗は清河らの態度作法を賞讃し，大使・副使の肖像を描かせて秘庫に納め，清河に特進(正二品)を授けた。唐における行事を終え，唐朝の官人となっていた留学生阿倍仲麻呂を伴って帰途につき，
・・・・・・ 753＝38歳：_遣唐船4隻の第1船に仲麻呂とともに乗り，蘇州を出帆した。清河らはひそかに延光寺にいたり，鑑真に東航を承諾きせたが，この時，鑑真・思託らは第2船に同乗し来日している。第1船は阿児那波(沖縄とみられる)まできたところで逆風に遭い，安南の驩州に吹き戻され，現住民のために乗員多数が殺害されたが，清河・仲麻呂らは脱出して，
・・・・・・ 755＝40歳：この頃，*長安に戻った。以後，唐朝に仕え，名を河清と改め，官は秘書監(従三品相当)にいたっている。
聖武天皇没・ 756＝41歳：
_日本の朝廷では清河を迎えるため，
万葉集最終歌 759＝44歳：_高元度を大使とする迎入唐大使使を派遣し，元度らは渤海を経て入唐したが，玄宗は清河を寵愛し，安史の乱で路次不穏であることを理由に清河の帰国を認めなかった。清河は涙を流して悲しんだという。
光明皇后没・ 760＝45歳：
こののち，清河は渤海・新羅を通じて日本に消息を送り，また朝廷も渤海および遣唐使に託して帰国を勧める書状や砂金などを送る一方，文部(式部)卿・仁部(民部)卿・常陸守・従三位などに叙任している。

宇佐八幡神託 769＝54歳：

_帰国することなく，

山部立太子・ 773＝58歳：_唐で客死した。
再入唐後，唐の女性との間に女喜娘をもうけ，喜娘は清河の死後来日している。

古代の人物3「平城京の落日」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，インターネット，